

製品名: アネキシン I (リン酸化 Tyr21) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab04232**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 WB 1:500-1:2000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ANXA1
別名	ANXA1; ANX1; LPC1; Annexin A1; Annexin I; Annexin-1; Calpactin II; Calpactin-2; Chromobindin-9; Lipocortin I; Phospholipase A2 inhibitory protein; p35
遺伝子 ID	301.0
SwissProt ID	P04083
免疫原	ヒトアネキシン I のリン酸化部位（リン酸化 Tyr21）周辺の合成リン酸化ペプチド

背景

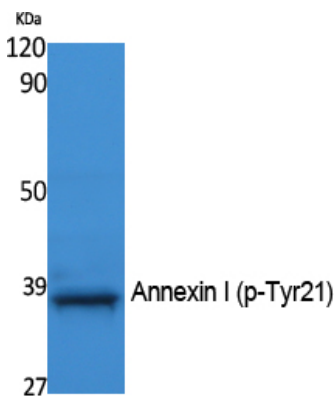
この遺伝子は、リン脂質に結合する膜局在性タンパク質をコードしています。このタンパク質はホスホリパーゼ A2 を阻害し、抗炎症

作用を有します。この遺伝子の機能喪失または発現は、複数の腫瘍で検出されています。[RefSeq 提供、2014年12月],ドメイン：一対のアネキシンリピートが、カルシウムとリン脂質の結合部位を形成する可能性があります。機能：膜融合を促進し、エキソサイトシスに関与するカルシウム/リン脂質結合タンパク質。このタンパク質はホスホリパーゼ A2 の活性を制御します。2~4 個のカルシウムイオンと高い親和性で結合すると考えられます。PTM：タンパク質キナーゼ C、上皮成長因子受容体/キナーゼ、および TRPM7 によってリン酸化されます。リン酸化により阻害活性は消失する。類似性：アネキシンファミリーに属する。類似性：1つのアネキシンリピートを含む。類似性：2つのアネキシンリピートを含む。類似性：4つのアネキシンリピートを含む。細胞内局在：気管内皮細胞の繊毛、核、および基底外側細胞膜に存在（類似性による）。II型肺胞上皮細胞および肺胞マクロファージの細胞質に存在。サブユニット：胎盤中のホモ二量体（20%）；トランスグルタミル化によって結合している。DYSF と相互作用する。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



ホスホアネキシン I (Y21) ポリクローナル抗体を用いた NIH-3T3 細胞抽出物のウェスタンブロット解析。